

能美防災は、街を、人を、かけがえのないものを、
火災から守り続けています。



2019年度 第2四半期 決算説明会

(2020年3月期)

2019年12月4日

能美防災株式会社 **NOHMI**

I . 2020年3月期 第2四半期 (2019年4月～9月) 連結決算概要



第2四半期として過去最高の連結業績を更新

受注高・売上高・利益のすべてで過去最高を更新

売上高・利益は、すべてのセグメントで前期比プラス

期初予想を上回る利益を計上

前期に比べ、上期に収益が偏ることは期初予想通り

比較的採算性の良い物件が集中

一部の物件で工期の遅れ

消火設備セグメントを中心に工期の遅れがみられる

火災報知設備・保守点検等セグメントがこれをカバー

2020年3月期 第2四半期 連結業績

(百万円)

	2019/3 2Q	2020/3 2Q		前年度比		計画比	
	実績	計画	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	57,917	58,000	61,688	+3,771	+6.5%	+3,688	+6.4%
売上高	43,312	50,000	50,038	+6,726	+15.5%	+38	+0.1%
売上原価率	70.7%	69.2%	67.3%	△3.4pt	—	△1.9pt	—
売上総利益	12,688	15,400	16,372	+3,683	+29.0%	+972	+6.3%
販管費	10,811	11,300	10,816	+5	+0.0%	△483	△4.3%
営業利益	1,877	4,100	5,555	+3,678	+196.0%	+1,455	+35.5%
売上高営業利益率	4.3%	8.2%	11.1%	+6.8pt	—	+2.9pt	—
経常利益	2,047	4,100	5,653	+3,605	+176.1%	+1,553	+37.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,133	2,600	3,637	+2,503	+220.7%	+1,037	+39.9%
EPS (円)	18.81	43.12	60.32				

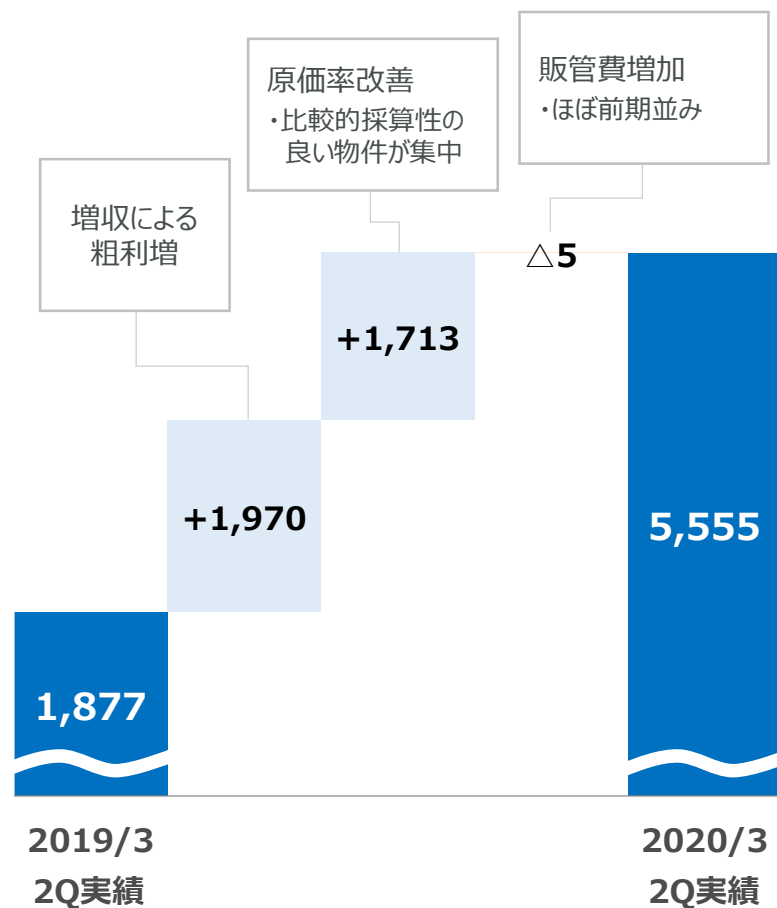
セグメント別売上高・利益

(百万円)

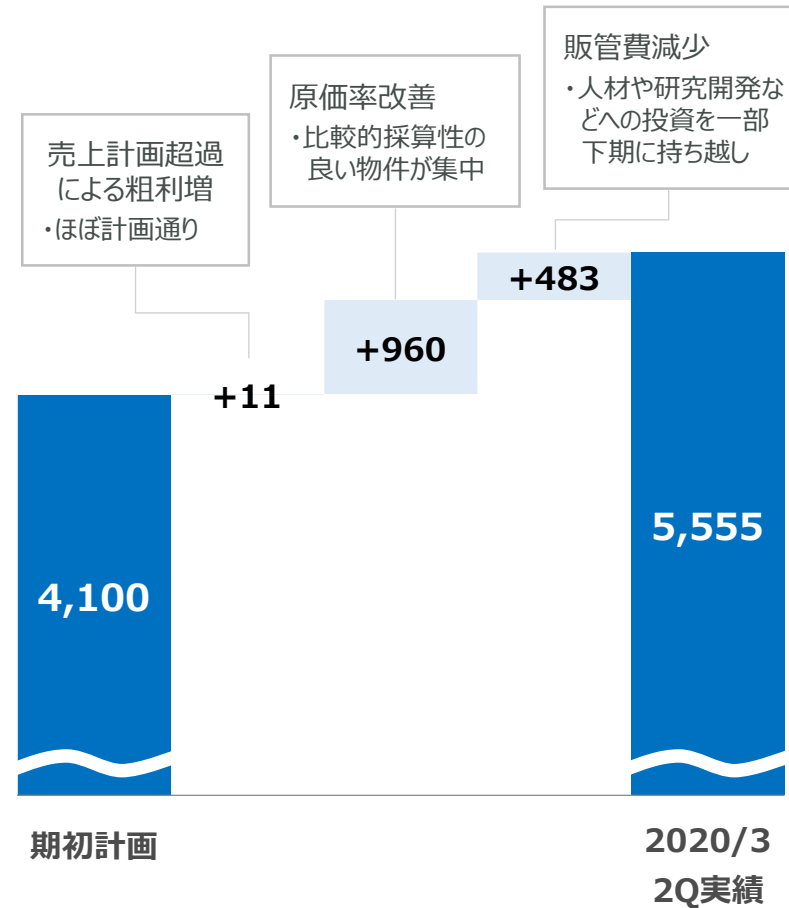
		2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年度比	
		実績	実績	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	15,229	16,689	+1,459	+9.6%
	セグメント利益	1,543	2,945	+1,402	+90.9%
	(利益率)	(10.1%)	(17.6%)	(+7.5pt)	—
消火設備	売上高	15,037	18,515	+3,477	+23.1%
	セグメント利益	1,613	2,993	+1,379	+85.5%
	(利益率)	(10.7%)	(16.2%)	(+5.5pt)	—
保守点検等	売上高	10,596	12,361	+1,765	+16.7%
	セグメント利益	1,780	2,613	+832	+46.7%
	(利益率)	(16.8%)	(21.1%)	(+4.3pt)	—
その他	売上高	2,589	2,633	+44	+1.7%
	セグメント利益	56	128	+72	+129.4%
	(利益率)	(2.2%)	(4.9%)	(+2.7pt)	—
消去または全社	売上高	△139	△160	△20	—
	セグメント利益	△3,116	△3,124	△8	—
連結	売上高	43,312	50,038	+6,726	+15.5%
	営業利益	1,877	5,555	+3,678	+196.0%

営業利益増減分析

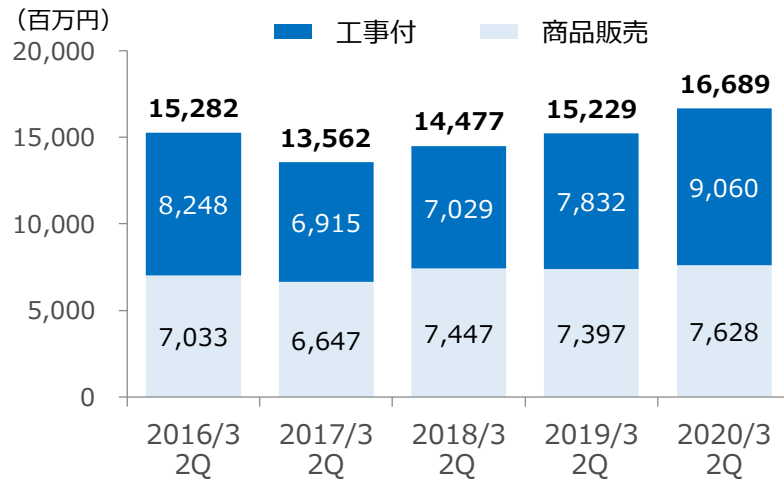
対前期比（百万円）



対計画比（百万円）

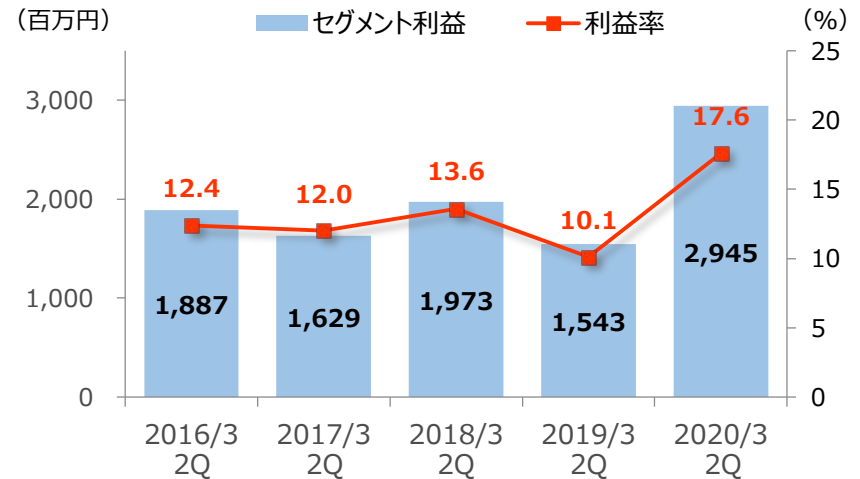


売上高（消去前）



	2019/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	前年度比 (%)
受注高	21,362	20,311	△4.9
受注残高	18,296	17,978	△1.7
売上高	15,229	16,689	+9.6
工事付	7,832	9,060	+15.7
商品販売	7,397	7,628	+3.1
セグメント利益	1,543	2,945	+90.9

セグメント利益／利益率

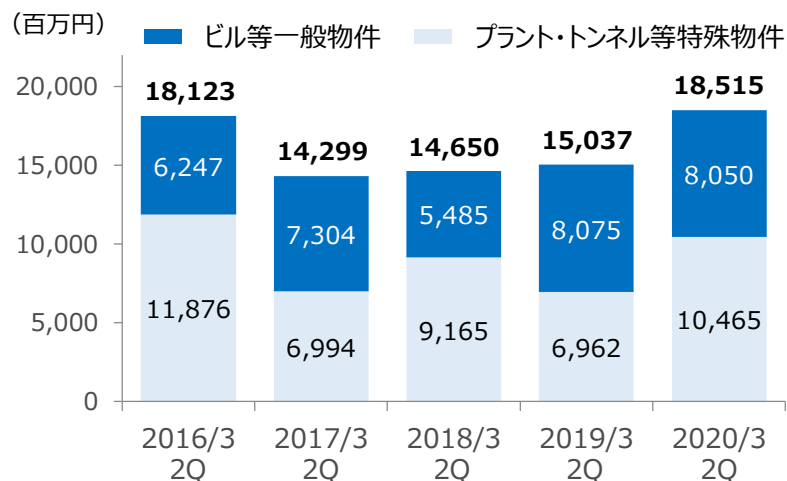


▶ 前期が高水準であったことから受注高は減少

▶ 売上高は、リニューアル物件を中心に、
例年よりも上期に集中

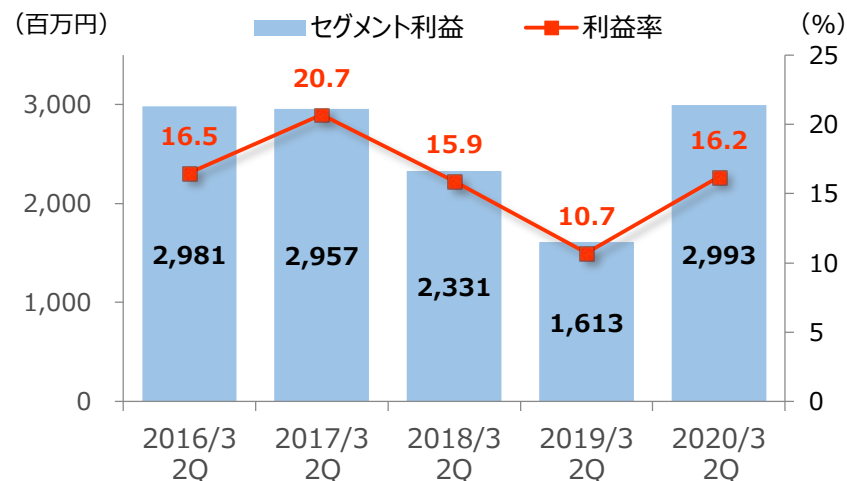
比較的採算性の良い物件が集中し、
利益も増加

売上高（消去前）



	2019/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	前年度比 (%)
受注高	16,082	19,629	+22.1
受注残高	39,135	37,560	△4.0
売上高	15,037	18,515	+23.1
一般物件	8,075	8,050	△0.3
特殊物件	6,962	10,465	+50.3
セグメント利益	1,613	2,993	+85.5

セグメント利益／利益率

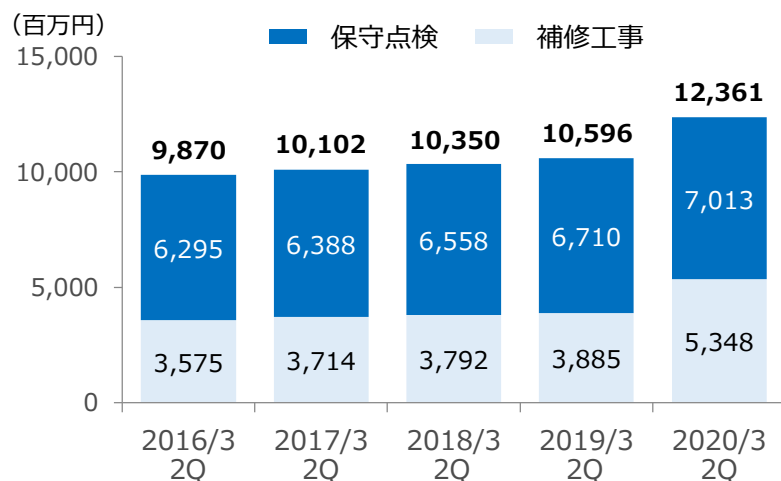


➤ 受注高は、大型物件が重なり増加

➤ 一部の物件に工期の遅れがみられるものの、特殊物件がけん引し、売上高も増加

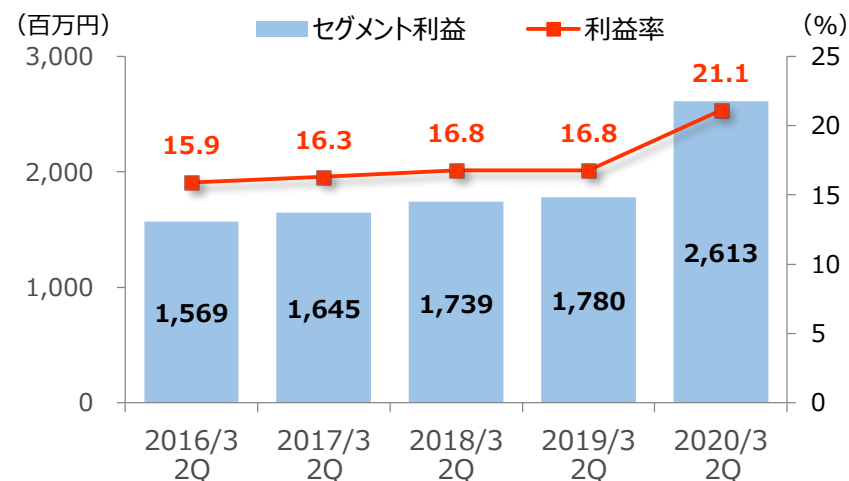
前期に比較的採算性の低い大型物件が重なっていたことから、利益も増加

売上高（消去前）



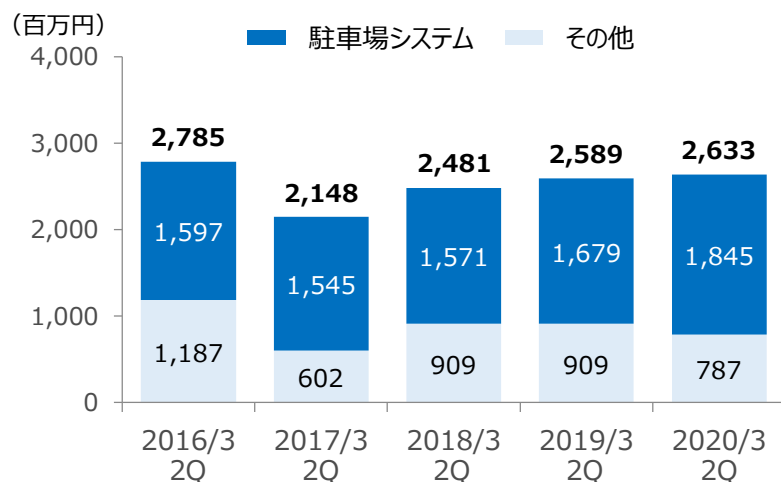
	2019/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	前年度比 (%)
受注高	17,576	18,535	+5.5
受注残高	11,105	10,746	△3.2
売上高	10,596	12,361	+16.7
保守点検	6,710	7,013	+4.5
補修工事	3,885	5,348	+37.6
セグメント利益	1,780	2,613	+46.7

セグメント利益／利益率



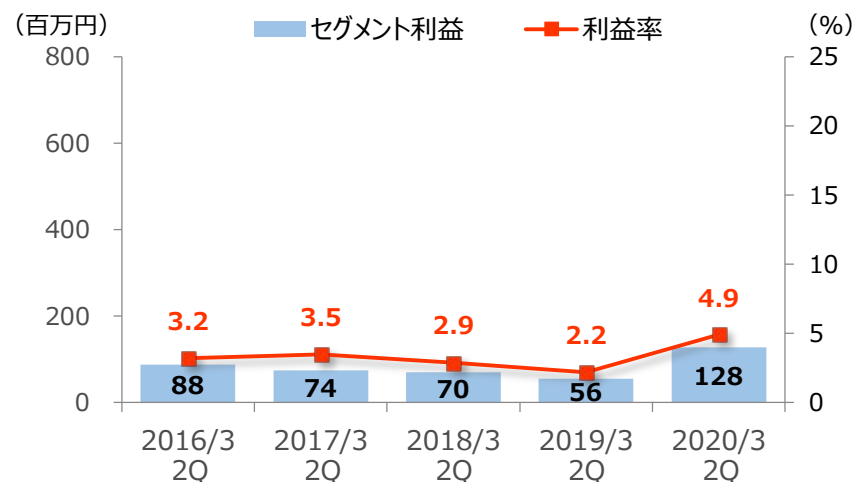
- 堅調な市場環境が継続するなか、
着実に受注高を積み上げた
- 売上高は補修工事がけん引、
保守点検も着実に伸ばした
- 比較的採算性の良い物件が集中し、
利益率も上昇

売上高（消去前）



	2019/3 2Q実績	2020/3 2Q実績	前年度比 (%)
受注高	2,895	3,210	+10.9
受注残高	1,037	1,420	+36.9
売上高			
駐車場システム	1,679	1,845	+9.9
その他	909	787	△13.4
セグメント利益	56	128	+129.4

セグメント利益／利益率



受注高、売上高ともに堅調
 駐車場システムが売上高を伸ばした
 厳しい環境ながら、利益率も改善

Ⅱ. 2020年3月期 連結業績予想

NOHMI

2020年3月期 連結業績予想

(百万円)

	2019/3	2020/3	前年度比	
	実績	予想	増減額	増減率
受注高	107,860	116,000	+8,139	+7.5%
売上高	106,774	114,000	+7,225	+6.8%
売上総利益 (利益率)	34,847 (32.6%)	36,200 (31.8%)	+1,352 (△0.8pt)	+3.9% —
販管費	23,480	24,200	+719	+3.1%
営業利益 (利益率)	11,366 (10.6%)	12,000 (10.5%)	+633 (△0.1pt)	+5.6% —
経常利益	11,644	12,200	+555	+4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,804	8,000	+195	+2.5%
EPS (円)	129.42	132.67		
ROE	9.2%	9.1%		

売上高は過去最高の更新を継続

第2四半期までの売上高は概ね予想通り
すべてのセグメントで増収、3期連続の過去最高更新を見込む

受注高も過去最高を更新

市場は引き続き堅調に推移
積極的な営業活動を継続し、2期ぶりの過去最高更新を見込む

営業増益を予想、利益率は前期並みを確保

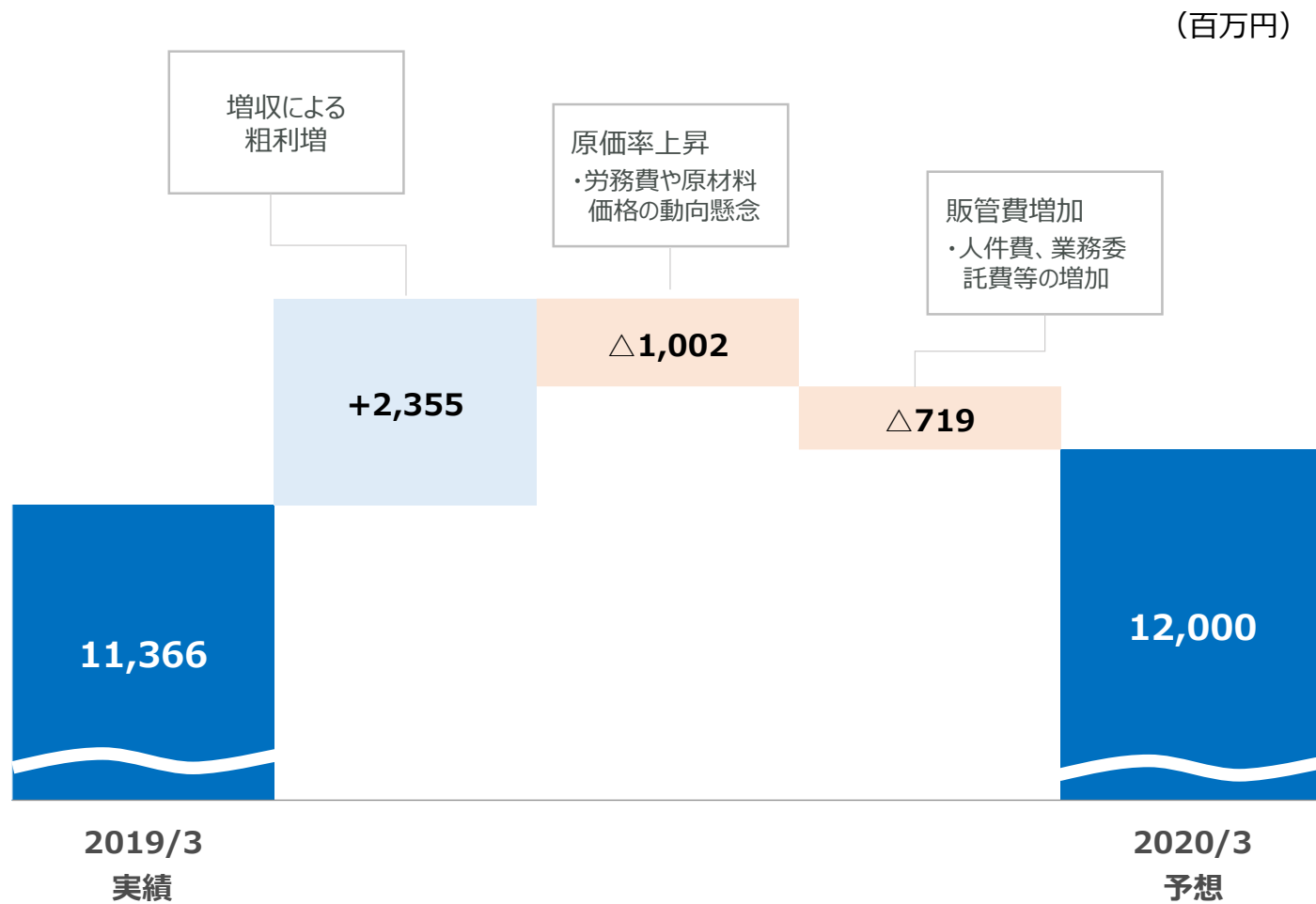
第2四半期までは予想を上回ったものの、
市場動向に未だ不透明な部分があるため期初予想に変更なし

セグメント別売上高・利益予想

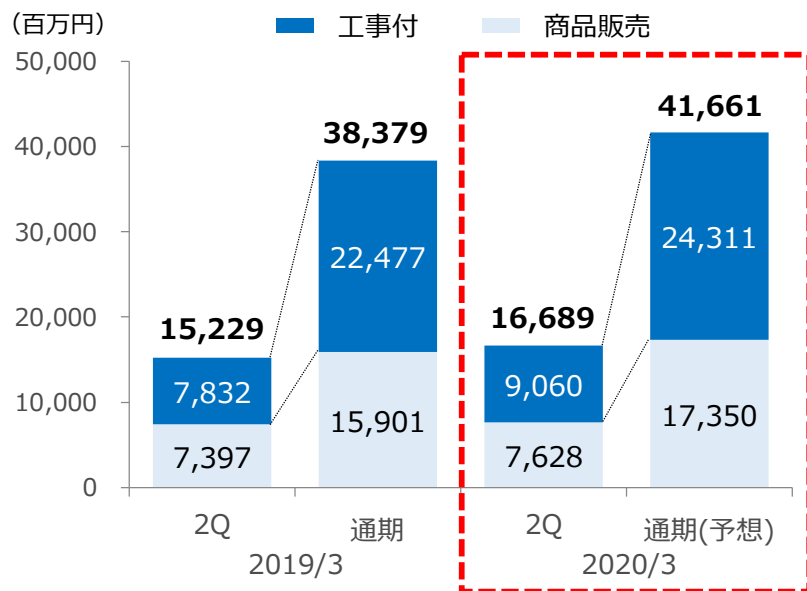
(百万円)

		2019/3	2020/3	前年度比	
		実績	予想	増減額	増減率
火災報知設備	売上高	38,379	41,661	+3,282	+8.6%
	セグメント利益	6,911	7,340	+428	+6.2%
	(利益率)	(18.0%)	(17.6%)	(△0.4pt)	—
消火設備	売上高	37,118	40,637	+3,519	+9.5%
	セグメント利益	5,349	5,874	+524	+9.8%
	(利益率)	(14.4%)	(14.5%)	(+0.1pt)	—
保守点検等	売上高	25,831	26,230	+399	+1.5%
	セグメント利益	5,488	5,375	△112	△2.0%
	(利益率)	(21.2%)	(20.5%)	(△0.7pt)	—
その他	売上高	5,807	5,832	+24	+0.4%
	セグメント利益	319	389	+70	+22.2%
	(利益率)	(5.5%)	(6.7%)	(+1.2pt)	—
消去または全社	売上高	△361	△361	—	—
	セグメント利益	△6,701	△6,980	△279	—
連結	売上高	106,774	114,000	+7,225	+6.8%
	営業利益	11,366	12,000	+633	+5.6%

営業利益予想増減分析

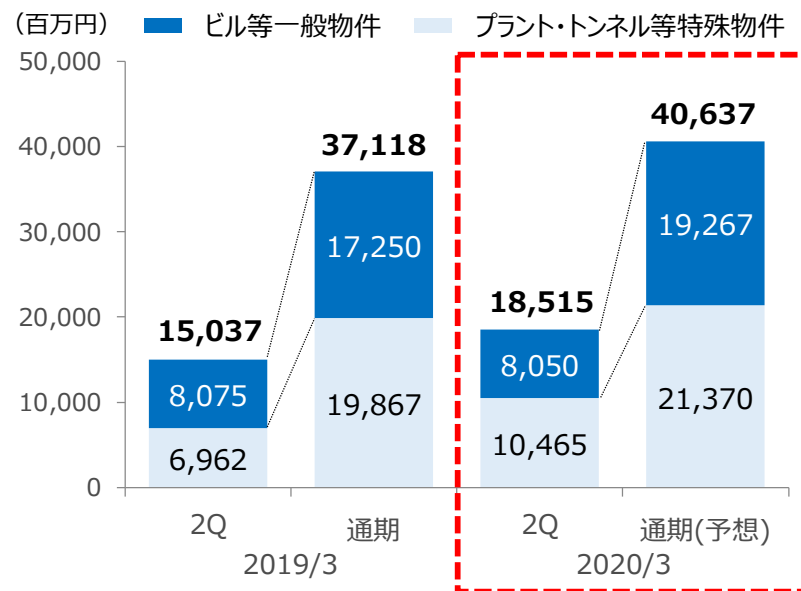


火災報知設備



➤ 引き続き、物件獲得に向けた営業に注力し、新築物件・リニューアル物件ともに伸長を見込む

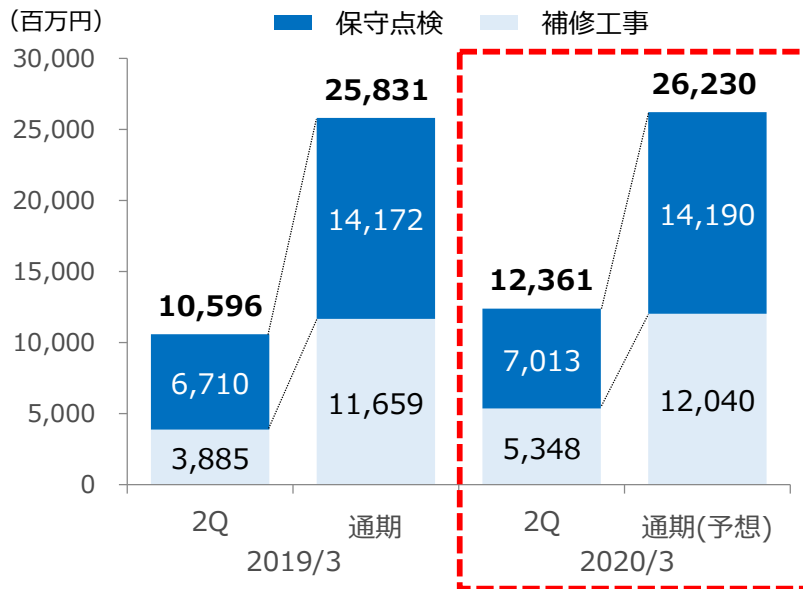
消火設備



➤ 堅調な市場環境を想定し、一般物件、特殊物件の双方で増収を見込む

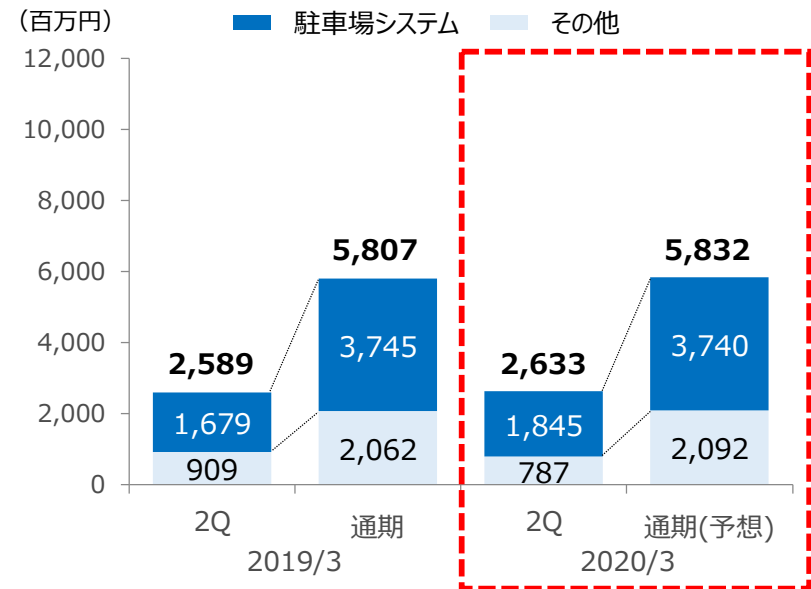
一部の物件で工期遅れがみられるものの、期初予想通り増収を目指す

保守点検等



➤ 保守点検、補修工事ともに着実な成長を見込む

その他

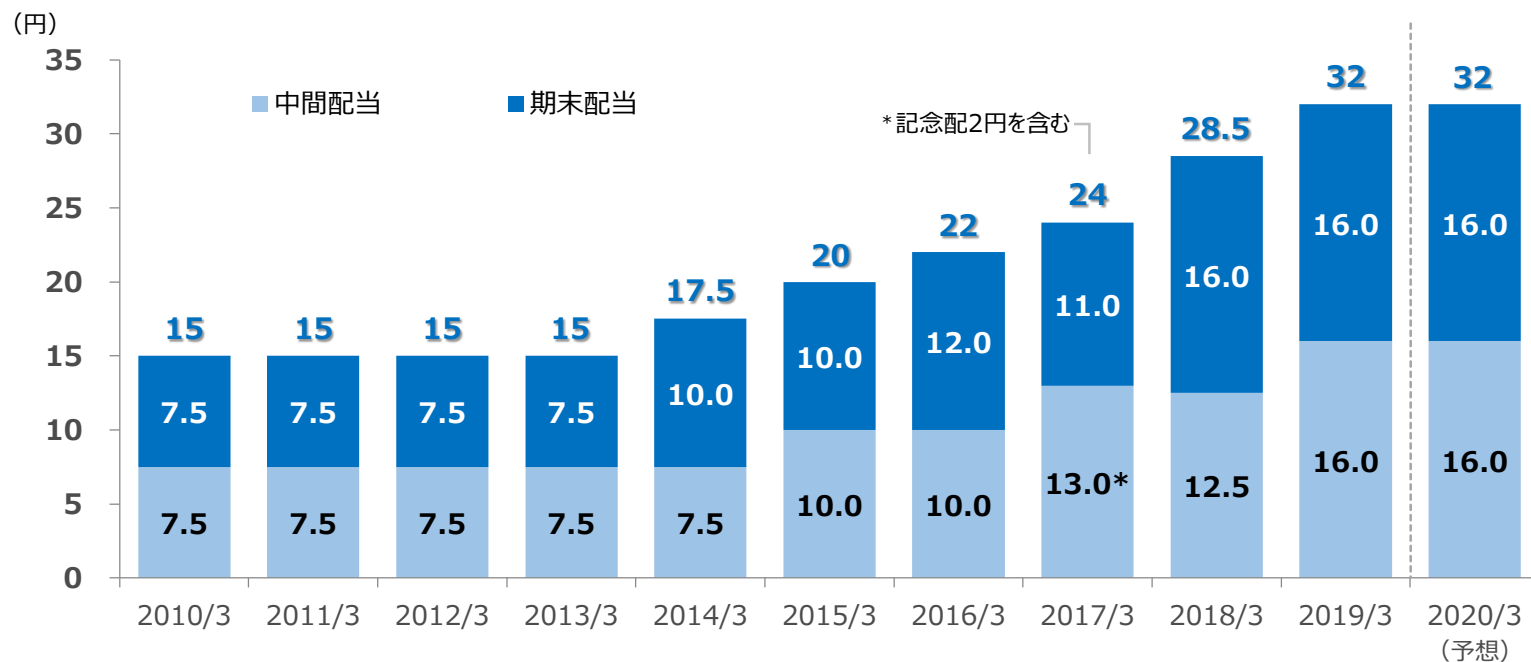


➤ 駐車場システムをはじめ、全体としても売上高はほぼ横ばいとなる見通し

株主還元については、配当額の安定的な推移を重視

1978年以来、特別配当を除き減配をしていない

1株あたり配当金の推移



配当性向	38.8%	48.5%	50.6%	31.4%	21.9%	21.4%	20.0%	20.8%	18.8%	24.7%	24.1%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

Ⅲ. 中期経営計画『project2021』 (2019年度～2021年度)



前中期経営計画の振り返り

1 次世代防災への基盤整備

2 基幹事業の収益力向上と売上拡大

3 お客様との信頼関係の更なる向上

4 新規市場・サービス事業への積極果敢な挑戦

5 技術開発力・エンジニアリング力の強化

6 海外事業の強化

7 防災領域の拡大を目的とした国内外におけるM&Aの推進

8 人財育成の強化

9 グループ全体でのCSR・コーポレートガバナンスの強化

積極的投資の実行による成果

⇒ 能美テクノスペース市ヶ谷（PR施設）
能美テクナリウムメヌマ・研究棟（PR・研究施設）
メヌマ工場の拡大、管理システムの刷新など

斬新な新商品の発売

⇒ 8年ぶりに主力のR型防災システムを刷新（R-26C）
薄型住宅用火災警報器の販売開始など

防災領域の強化・拡大

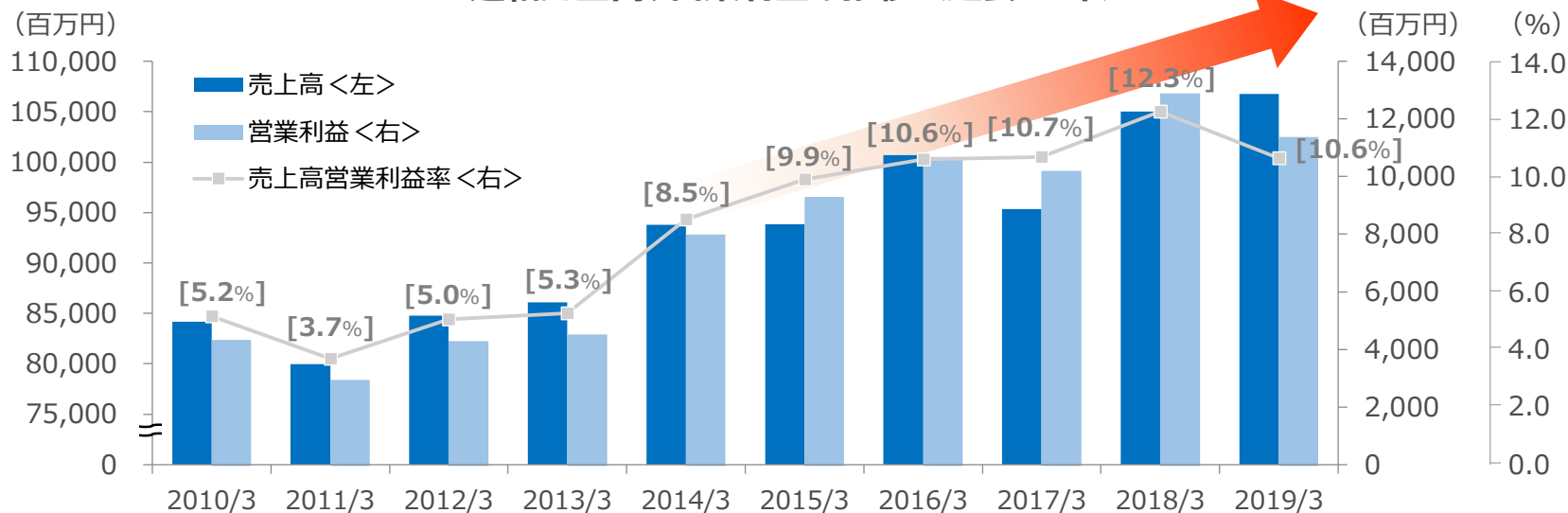
⇒ (株)共同設備、システムサービス(株)のグループ化



基幹事業の収益力向上、お客様との信頼関係、
海外事業、人財育成について課題が残った

project2021をスタートさせるにあたって

連結売上高、営業利益の推移＜過去10年＞



【当社の基本的認識】

ここ数年の業績伸長は、外部環境の追い風もあるなか、
製品開発や製造コスト見直し、リニューアル営業への注力などに取り組んだ成果。
ただし、既存の事業領域の枠内にとどまってきた

さらなる成長のためには、「事業領域の拡大」が不可欠

外部環境の認識

確実に進むメガトレンド

- AI/IoTなどの技術革新
- 労働人口減少などの人口動態変化
- 気候変動、気象激甚化による防災の複雑化
- アジア圏の成長など経済大国シフト

不透明な経営環境

- オリンピック後の需要変動
- 建物管理・利用形態の多様化による火災対応の複雑化

技術革新などを通じた当社の貢献可能な領域の拡大

当社の存在意義

防災事業のパイオニアとして、世の中の変化を先取りし、
社会の安全に貢献する価値を提供し続ける

外部環境に対応し、より高いステージへ進むためには

『現場力』の強靱化が必要不可欠



「現場力」…現場で発生する課題・問題を全員が当事者意識を持って自律的に発見し、組織力を発揮して解決にあたる力

ビジョン

強靱な「現場力」を礎に飛躍的成長へ

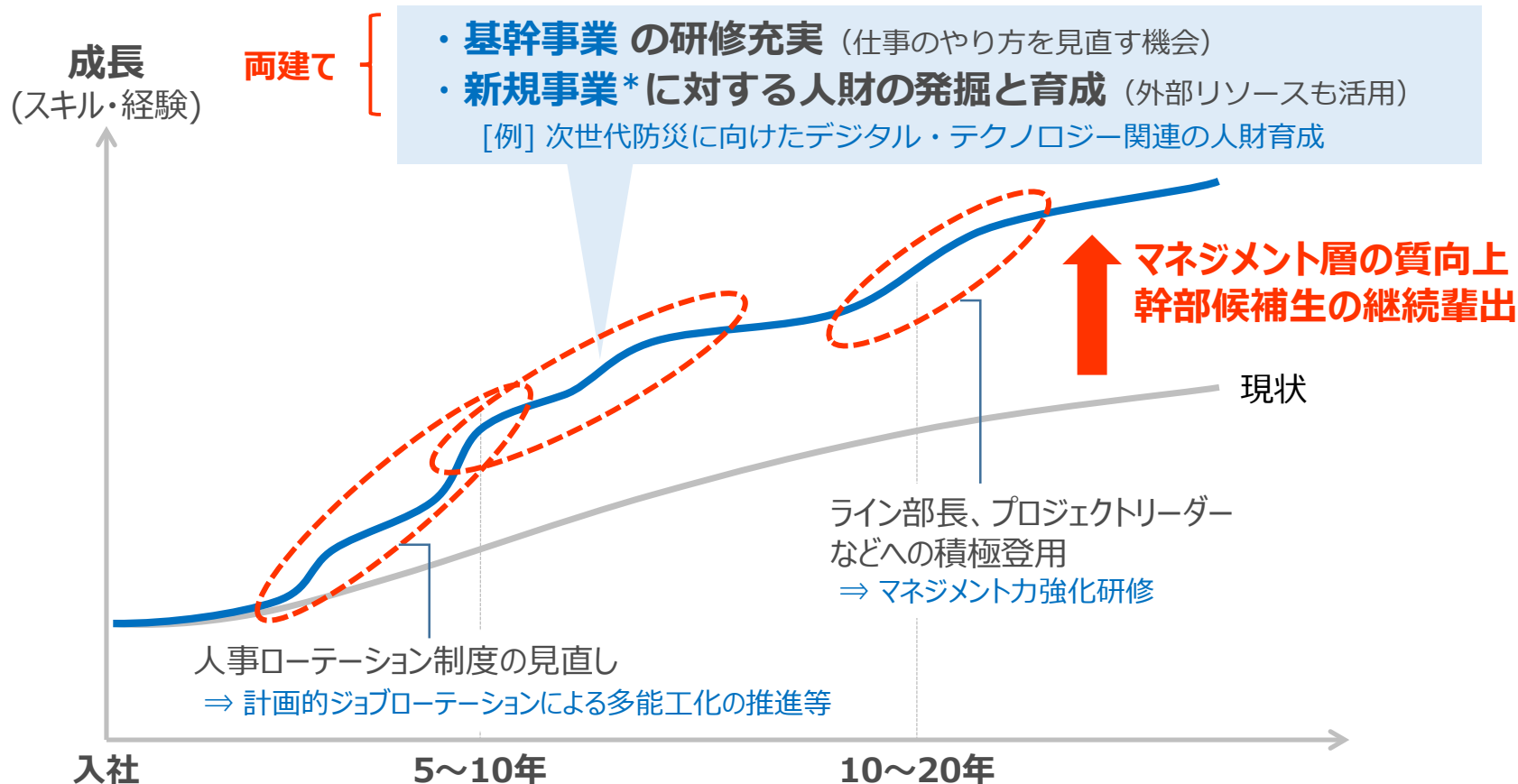
総合防災企業として防災分野のパイオニアであり続ける

【中期経営計画の重点方針】

- ① 人財力の向上
- ② 事業構想力・遂行力 / オペレーションの精度とスピードの向上
- ③ グループ経営の強化

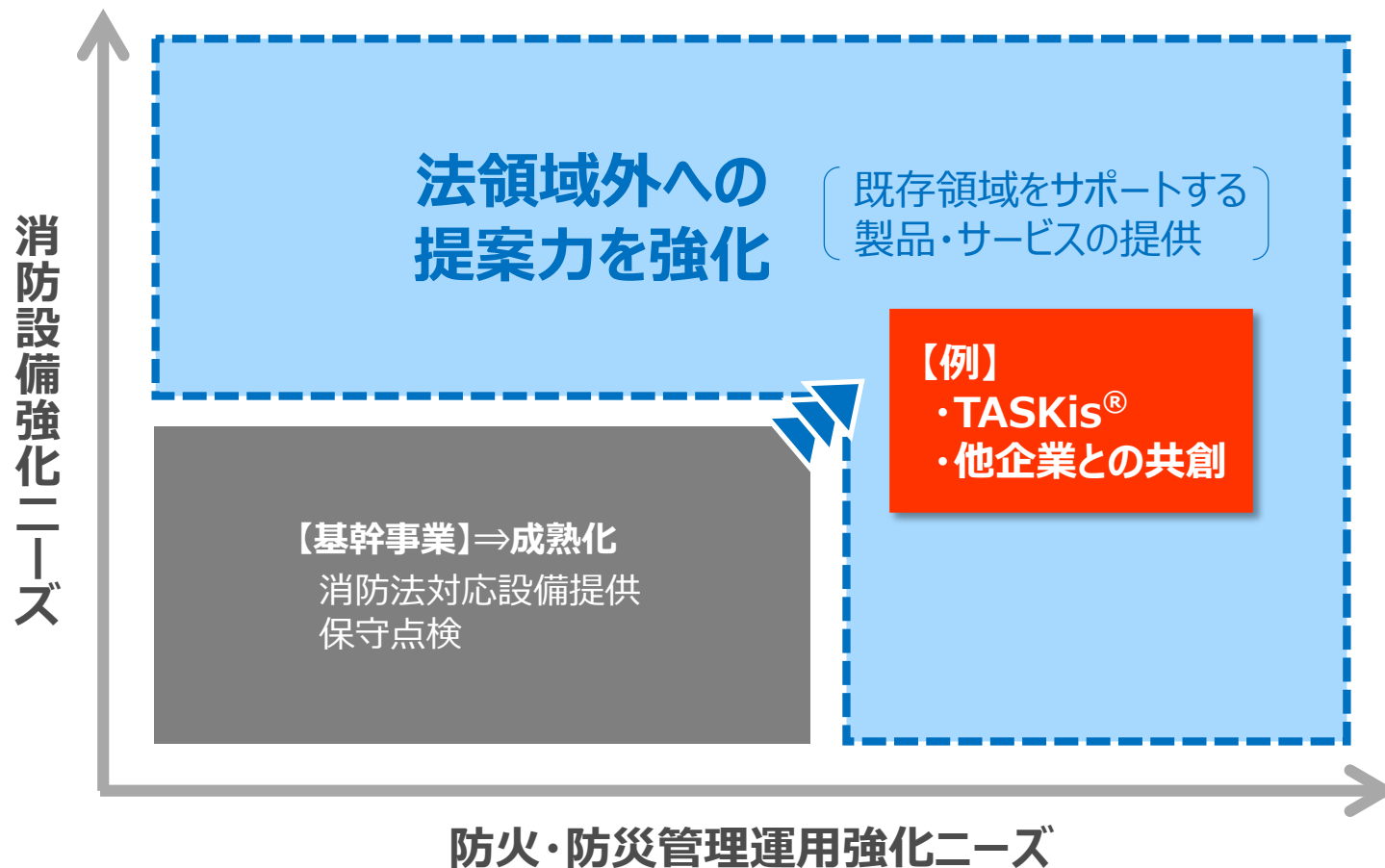
より高いステージに向けた基盤づくり（投資、新たな取り組み）

人財力の向上



*新規事業の対象は、既存事業に取り組む中で、お客様ニーズが派生する可能性があると考える周辺領域

事業領域の拡大

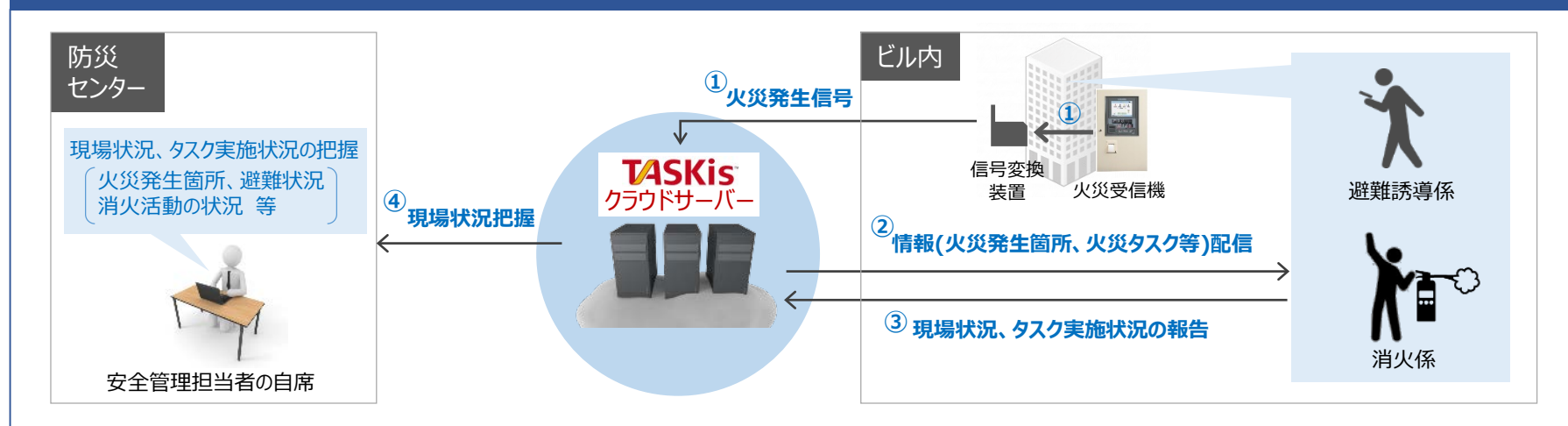


新たな価値の提供による提案力強化

クラウド型防災支援ソフト『TASKis®』の主な機能

- 火災・地震など、BCPに係る非常時の行動指示情報(タスク)を、関係者のスマートフォンへ通知
- 関係者からのタスク実施報告を、管理者のパソコン画面へリアルタイムに表示

ビル内での火災発生を想定した「TASKis®」の動作イメージ

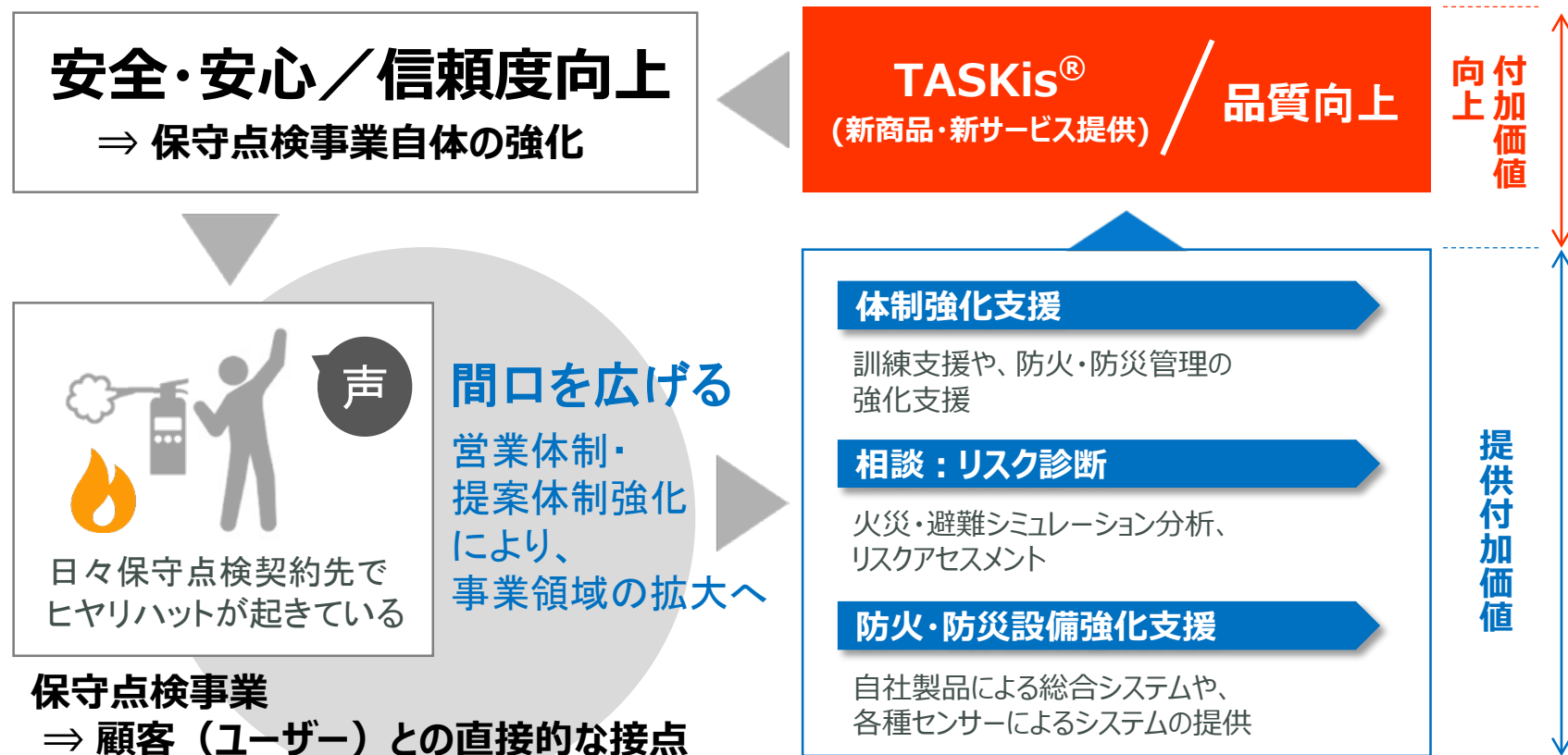


ソフト（体制整備）の面で新たな価値を提供

変化するお客様ニーズ … 「検知・検出」から「予防」へ

事業領域の拡大への取り組み事例① ～TASKis®～

『TASKis®』を起点とした保守点検事業における新規事業創出の一つのカタチ



事業領域の拡大への取り組み事例② ～共創～

企業との共創 ～防災・減災分野で蓄積された知見を活かす一つのカタチ～

変化する
お客様ニーズを
直接キャッチ



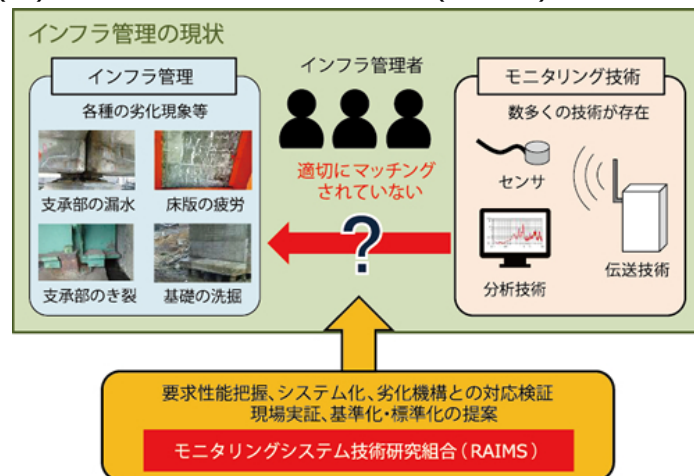
蓄積した知見
+
データ・テクノロジー
AI、IoT 等



社会インフラの維持・更新向けの
新製品・サービスの提供へ

【当社】防災・減災分野で蓄積した知見に基づく
データ分析力を活かし、センサーを開発

(例)モニタリングシステム技術研究組合 (RAIMS) での共同研究



※ RAIMSホームページより引用

海外事業の強化

アフターサービスまでを含めた付加価値の高いサービスの提供

中国

販売ターゲット拡大
製造戦略の見直し

インド

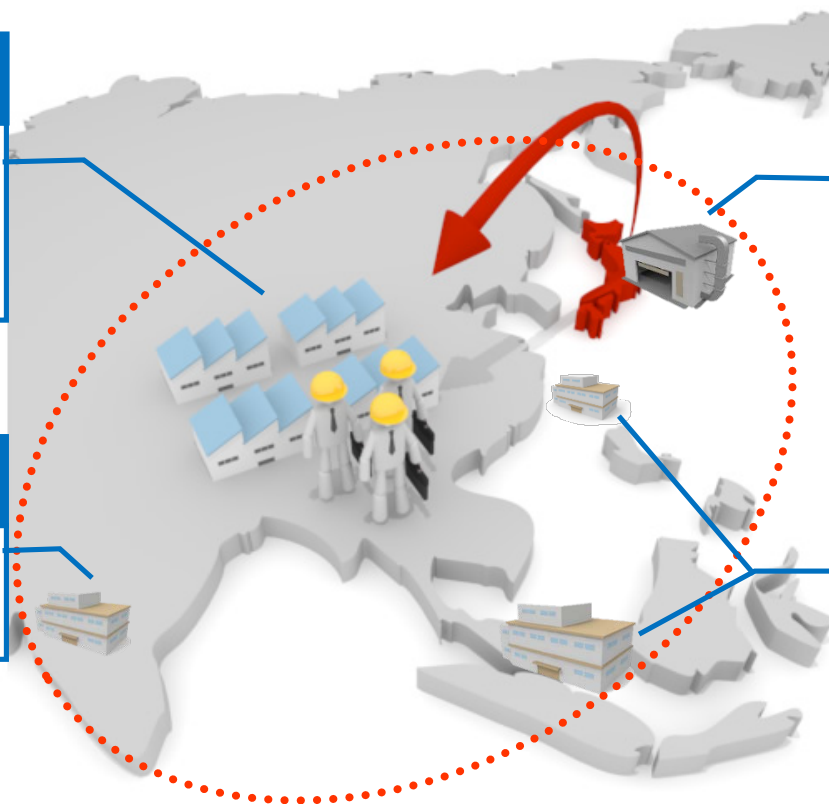
事業戦略の再構築

日本

バックオフィス機能強化
製造バックアップ機能強化
グローバル人財の確保
M&A、他社との連携検討

東南アジア・台湾

営業拠点施策
代理店施策
製品ラインナップの見直し

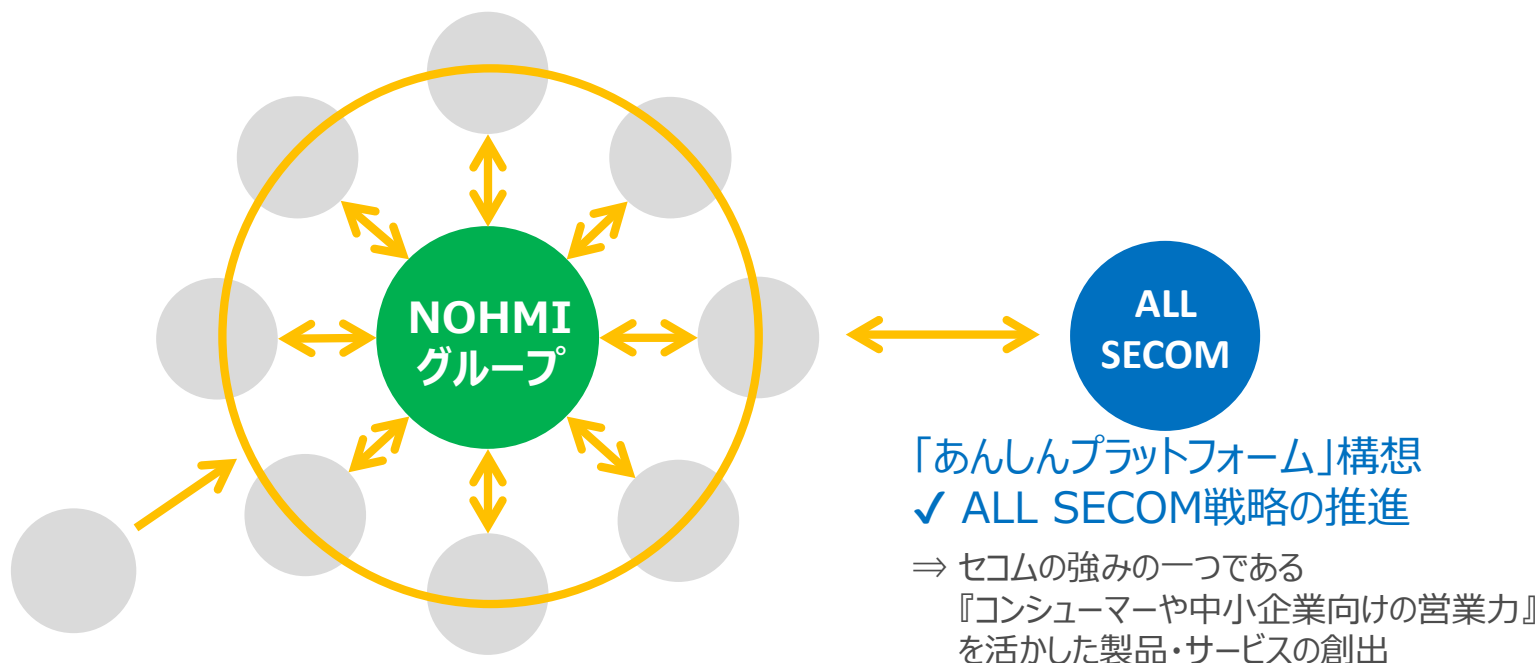


グループ経営の強化

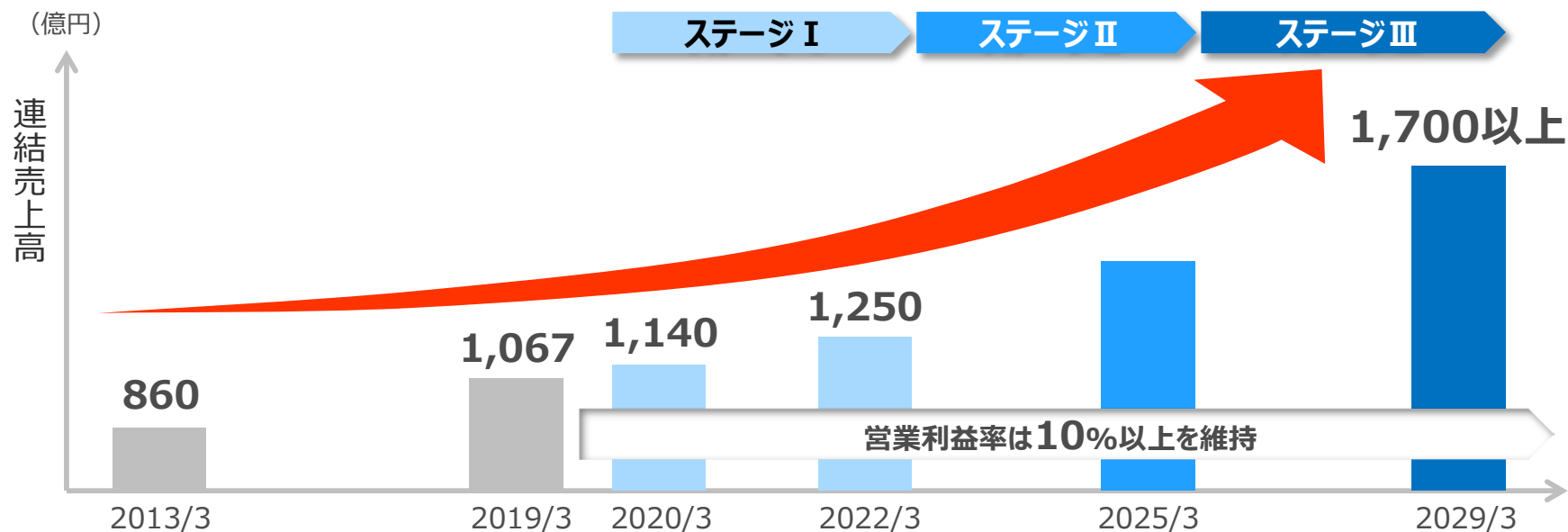
- ・能美グループ間の連携強化

（例）グループを横断する管理システム＜導入済み＞の活用

- ・防災領域拡大を目指したM&Aの検討、推進



連結売上高・営業利益率



研究開発投資

- ・社内外の関係機関と連携し、要素・技術を導入
(データ・テクノロジー、AI、IoT…)
 - ・当社コア技術の社内育成を推進
- 次世代新商品開発へ

試験研究費

22億円

30億円

50億円

対連結
売上高比率

2.1%

2.4%

3.0%

IV. ご参考

NOHMI

～ 防災システムを一貫体制で提供する総合防災企業 ～

商 号

能美防災株式会社

本店所在地

東京都千代田区九段南四丁目7番3号

設 立

1944 [昭和19]年 5月 5日 ※創立は1916年 [大正5年] 12月

代 表 者

代表取締役社長 伊藤 龍典

資 本 金

13,302百万円

※ともに2019年3月末

従 業 員 数

2,442名 <連結>

事 業 内 容

防災に関する受託実験・企画・提案
各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守
上記機器の設計、製造、販売
駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売及び保守

創立100周年

- ↑ 2017 妻沼東事業所に、展示施設「能美テクノロジーウムメヌマ」を開設
メヌマ工場を拡大
- 2016 消火剤噴霧自動消火システム「SPlashα」を販売開始
- 2014 「リング型表示灯付発信機」がグッドデザイン金賞を受賞
- 2013 画像処理煙検知システムを販売開始
- 2010 三郷市に研究開発センターを開設
- 2009 火災予兆検知システム「PROTECVIEW」を販売開始
- 2006 セコム株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施
- 2004 住宅用火災警報器「まもるくん10」を販売開始
- 2002 自動試験機能付P型自動火災報知システム「進P」を販売開始
- 1995 中国に合併会社「北京能美西科姆消防設備有限公司」を設立
- 1991 東京証券取引所市場第一部に指定替え
- 1987 青函トンネルに防災設備、瀬戸大橋に消火設備を設置
- 1974 LNG基地防災システムを開発
- 1968 霞が関ビルディングに防災設備を設置 <超高層ビルとして国内初>
- 株式上場 ○ 1962 名神高速道路の梶原・天王山トンネルに防災設備を設置 <高速道路トンネルとして国内初>
東京証券取引所市場第二部に上場
- 1936 皇居に火災報知設備を設置
- 1933 三十三間堂に火災報知設備を設置 <国宝として国内初>
- 1924 前年の関東大震災を契機に自動火災報知機による防災事業開始
- 創立 ○ 1916 能美輝一、能美商会を創立



<メヌマ工場>



<能美テクノロジーウムメヌマ>



<リング型表示灯付発信機>



<研究開発センター(三郷)>



<まもるくん10>



<PROTECVIEW>

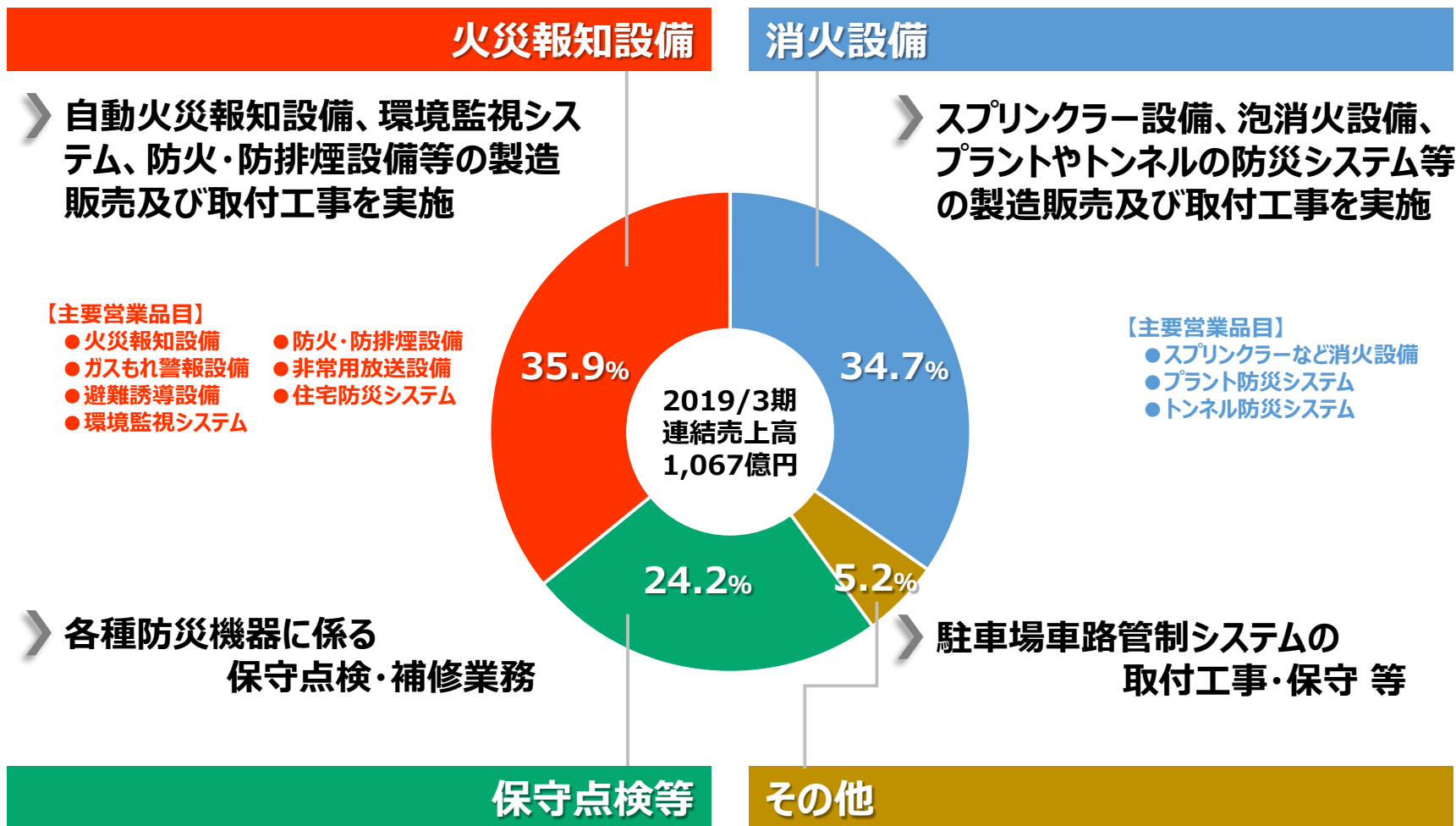
株式上場



<能美輝一>



<宮中奥御殿（皇居）完工記念>



総合防災力

- 研究・開発 ⇒ 製造 ⇒ 営業・設計 ⇒ 施工 ⇒ メンテナンスまで
一貫した責任体制でのサービスを全国に提供可能

一貫した責任体制

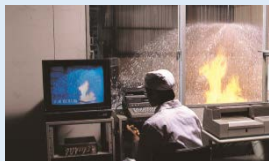
研究・開発

製 造

営業・設計

施 工

メンテナンス



- 幅広い品揃え**により、様々な施設、
防災ニーズに対応が可能

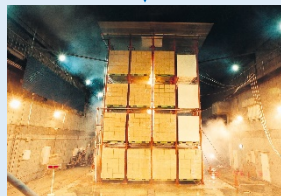


長い社歴の中で強みが磨かれた5つの要素

- ① 総合防災に関する開発、設計、施工等の『技術力』
- ② 豊富な実験により蓄積された火災に関する『ノウハウ』
- ③ 細かな工程管理や対応等、ハイレベルな『施工力』
- ④ 実績とともに築かれた関係各所からの『信頼』
- ⑤ 日本全国に敷かれた充実した『代理店網』

※あらゆる火災発生状況を想定したシミュレーション

ラック式倉庫
火災実験



自動車塗装ブース
火災実験



高発泡消火実験



煙の流動実験



クリーンルームでの
発煙実験



本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、能美防災およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。